

荻田町青少年育成町民会議だより



ふれあいか

編集・発行／荻田町青少年育成町民会議総務部会
(☎434-1111 内線390)

協力／荻田町企画課広報広聴係

No.17. 1995年(平成7年) 7月10日



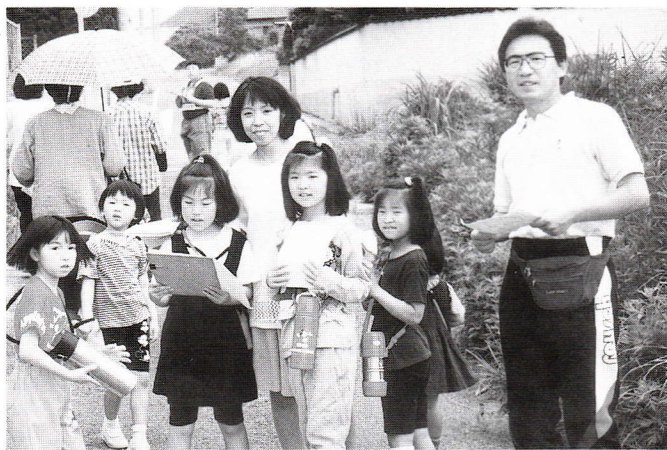
ふれあいウォークラリー

主 催 荻田町青少年育成町民会議



第6回 ふれあいウォークラリー

カメラスケッチ



※入賞チーム等くわしくは3ページに掲載しています。

各部会の活動計画を決定



五月二十九日、中央公民館第五研修室で、荊田町青少年育成町民会議の第七回総会が開催され、各部会ごとの平成七年度の活動計画が承認されましたので、ご紹介します。

総務部会

- 町民会議の趣旨や活動普及の徹底
- 啓発講演会の開催
- 広報紙「すこやか」の発行
- 青少年健全育成カレンダーの作成
- シンナー等乱用防止に関する啓発物品の作成

健全育成部会

- 体育行事参加の奨励
- 野外活動研修事業（ウォークラリー等）
- 青少年健全育成ポスターの募集

生徒指導研修部会

- 関係団体との連携と町内諸行事における非行防止活動
- 町内の児童・生徒の実態の把握と小中学校児童生徒の情報交換や連携を図る
- 他部会との情報交換や連携の強化

補導環境部会

- 青少年に有害な地域環境の浄

青少年健全育成講演会を開催します

「いじめと人権」(演題)

「いじめ」による自殺が大きな社会問題となっています。

「いじめ」は人権侵害です。そこで荊田町青少年育成町民会議では「いじめと人権」をテーマに講演会を計画しました。たくさんのご来場をお待ちしています。

- 日時 7月15日(土) 午後2時開会
- 場所 総合福祉会館大ホール
- 講師 吉武駿次郎さん(福岡県子ども専門委員)
- 入場料 無料
- 主催 青少年育成町民会議総務部会

家庭部会

- 「家庭の日」運動の推進
- 「オアシス」運動の推進
- PTA活動との連携強化
- シンポジウムの開催

会および行橋警察署より表彰されました。

平成7年度荊田町青少年育成町民会議役員のみなさん

(敬称略・カッコ内は所属)

- ▶会長 沖勝治(町長)
- ▶副会長 酒井盛親(社会教育委員)、新木幹雄(人権擁護委員)
- ▶理事長 井上之夫(少年補導員)
- ▶理事 高野牧夫(行橋警察署)、沖永春生(町議会)、浦田松雄(区長連合会)、中原義一(中学校)、藤田ヒサ子(小学校)、上村時靖(荊田工業高校)、赤司信義(西日本工業大学)、和田健一郎(幼稚園)、坂本和己(保育所連盟)、長松明義(青少年問題協議会)、吉廣啓子(教育委員)、片山家栄(社会教育委員)、高辻展充(社会教育委員)、竹井雅幸(PTA連合会)、高城雅春(PTA連合会)、大竹富子(婦人会)、山本節子(婦人会)、松中文雄(育成会連合会)、木下昌和(育成会連合会)、深見秀親(体育協会)、守中康哉(文化協会)、松木比呂貴(青年団協議会)、増田克己(老人クラブ連合会)、羽廣正純(少年補導員)、白川金治(保護司会)、山田隆(交通安全指導員)、門富一雄(福祉協議会)、松本武司(民生委員)、池上允之(人権擁護委員)、玉井法子(母子会)、坂岡ヒサコ(手をつなぐ親の会)、岡崎昌一(身障者福祉会)、坂岡正喜(スポーツ少年団)、尾田弘子(レクリエーション研究会)、中村寛治(商工会議所)、原田雄幸(青商会)、森河原貞俊(農業協同組合)、坂岡弘(ライオンズクラブ)、千原功(ロータリークラブ)、増田哲人(少年指導委員)、藤本尚(生徒指導研修部会)、吉野利子(主任児童委員)、増田庄二(公民館)、甬水金次郎(役場)
- ▶監事 山中康久(体育協会)、楠野宣機(役場)

「暴走族追放及び青少年の犯罪防止に関する決議」を可決

6月21日、荊田町議会6月定例会において、頻発する少年犯罪防止のため「暴走族追放及び青少年の犯罪防止に関する決議」を全会一致で可決しました。

古代ロマンを求めてウォーキング

第6回ふれあいウォークラリー

六月十日、第六回ふれあいウォークラリー（健全育成部会主催）が開催されました。

今年は、総合福祉会館をスタート・ゴールとする四つの周回コースを設定。百三十六チーム五百八十九名の親子連れや友達グループなどが、午前九時三十分から次々にスタートしました。

コマ地図を頼りに、番塚墳や御所山古墳の謎解きに挑戦。参加者のみなさんは、初夏の太陽を浴びて、心地よい汗を流しました。

☆

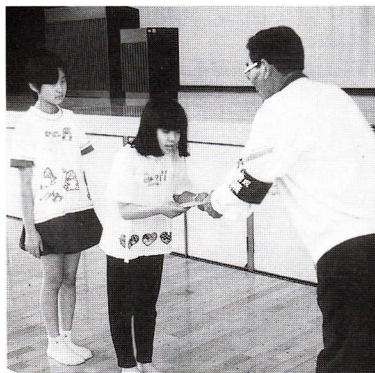
各コース入賞チーム

- のいちごコース ①守洋子チーム ②北原智里チーム ③片山ちか子チーム
- あじさいコース ①園田香奈子チーム ②勝原沙耶香チーム ③横手博幸チーム ③森下美幸チーム
- つばめコース ①ごとうゆうすけチーム ②足達静佳チーム ③田崎俊夫チーム ③徳永秀夫チーム
- かえるコース ①神知徳チーム ②三村さおりチーム ③九十九潤チーム



ウォークラリーアンケートより
 ○福祉会館の体育館を使用できてよかった。休息できた。
 ○表彰式があったのがうれしかった。
 ○暑くてのどがかわいた。
 ○番塚古墳の字が読めなかった。
 ○たいへん楽しかった。来年もぜひ参加したい。
 ○小学生はコース図があまり理解できていない。

☆



第3日曜日は家庭の日



雨で水入り！大綱引き大会

五月二十一日に開催予定の大綱引き大会は、残念ながら雨天のため中止となりました。
 右の写真は五月十二日、大綱引き大会に先立って行われた、松山軍（上）と山伏軍の必勝祈願の様子です。来年は今年の方まで引っ張るぞ！



青少年相談

Q & A

Q

A

戦する目当てを立て、粘り強く実現していく自己実現の過程と
いてよい。

二つは、子どもが試行錯誤しながら自分なりに創意工夫をする過程で、ルールや役割、責任が生まれてくることである。

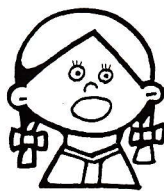
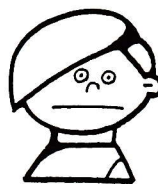
ルールを守り、役割や責任を果たす遊びの中で、子どもは自己コントロールする経験を積み重ね、手加減する能力や社会秩序を培っていく。

三つは、遊びそのものに没頭していることである。活動する中で、より確かな技を磨いたり、能率的な方法を生み出したりして、自分に有能感を感じながら夢中になって取り組む姿である。』といっておられます。

そして筆者は、「遊びは達成感・満足感のみならず、挫折感・葛藤など、人間として成長するうえで不可欠な体験を、ごく自

然に学び、身につけていくことができる。」と述べています。

(注)村山信一「遊びの重視による社会性の育成をどう進めるか」教職研修1995年3月号(教育開発研究所)より



教育委員会では、青少年の健全な育成をと「青少年教育相談室」を開設しています。ご利用ください。

勉強や進路、友達、家庭や親子関係、子どもの変化、しつけなどの問題解決への手助けのために、まずは気軽にダイヤルしてください。秘密は固く守ります。

●相談日時 毎週月・水・木・金曜 午前9時～午後4時30分

※相談は電話相談、面接相談のどちらでも受け付けます。

※祝祭日は除きます。

※休日と時間外は留守番電話で予約受付します。

悩んでいないで
気軽にダイヤル

イ イ コ ニ
☎436-1152

青少年教育相談室
(三原文化会館内)

7月は「青少年を 非行からまもる 全国強調月間」です

次代を担う青少年を健全育成することは国民の課題です。

少年非行は昭和58年をピークに、依然として高水準で推移しており、万引き等の初発型非行や中・高校生による非行の多発、無職少年による凶悪、粗暴な事件の発生、暴走族による暴走行為の頻発、シンナー等乱用少年や少年の福祉を害する成人犯罪による被害少年の増加、青少年を取り巻く社会環境の悪化など憂慮すべき状況にあります。

このため、7月を「青少年を非行からまもる全国強調月間」に定め、関係機関、関係団体、地域住民などが青少年の非行に対する共通の理解と認識を深め、非行防止のための諸施策および活動を有機的な連携のもとに集中的に実施し、非行防止の徹底を図っています。

編集・発行

苅田町青少年育成町民会議

総務部 会

☎434-1111 内線341